

◆二重取りの利用者負担は、原価の80～90%

区は、利用者負担を原価の80%と決めています。それが妥当かどうかの検討すら行われていません。

しかも、原価計算に①職員人件費、②維持管理経費(水光熱費・委託費・修繕費など)、③減価償却費をフルコストで原価計算しています。今回から、敷地内のフェンスなども減価償却費に加算されています。税金に加えて取る利用料は二重取りです。

◆公共施設利用料は、安価に!

近隣の豊島区・練馬区・北区はいずれも減価償却費を使用料に入れていません。公共施設の使用料の算出根拠になんら定めはありません。区の判断で、原価の範囲を決められます。公共施設は、住民の福祉向上を目的に、「税金」で建設され運営されてきました。住民の利用者負担は、低廉で安価にし、区民が利用しやすくすべきです。

◆ため込み金1,300億円こそ活用を

区が毎年100億円残して積み上げた「ため込み基金」総額は1,300億円なのに、厳しい区民生活に約1億3千万円の負担を押し付けている場合ではありません。

区民に意見も聞かずに!

値上げは2025年4月から

今年10月11日に区議会で議決

- 9月24日本会議 値上げ議案上程
- 9月25・26日各常任委員会で審議
- 10月11日本会議 表決
- 2025年4月1日 各施設の料金値上げ



いたばし元気帳

日本共産党板橋区議団ニュース 2024年9月号外

日本共産党板橋区議団 板橋区板橋2-66-1 電話(3579)2717 FAX(3579)2731